

整理番号: E-ME11-06

作成日 2001年4月11日

改訂日 2025年1月23日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	フォーゲル・ジョンソン寒天培地‘栄研’
製品コード	E-ME11
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422
推奨用途	細菌検査用の培地として使用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
急性毒性(経口)	区分3
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H315 - 皮膚刺激
H319 - 強い眼刺激
H301 - 飲み込むと 有毒

注意書き

保護具を着用する。飲み込んだ場合、眼の刺激が続く場合、皮膚に炎症が出た場合、すぐに医師に連絡する。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して、洗浄を続ける。皮膚に付着した場合、多量の水で洗浄する。口をすすぐ。内容物/容器は承認された廃棄物処理場に廃棄する。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

該当なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

該当なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成・成分

(1) フォーゲル・ジョンソン寒天基礎培地
酵母エキス、カゼイン製ペプトン、マンニット、グリシン、リン酸二カリウム、塩化リチウム、フェノールレッド、カンテン
(2) 2w/v%亜テルル酸カリウム水溶液
亜テルル酸カリウム
K₂TeO₃
7790-58-1
該当なし
該当なし

化学名又は一般名

分子式

CAS番号

慣用名又は別名

官報公示整理番号

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。症状があるときは、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合
眼に入った場合
飲み込んだ場合

多量の水で十分に洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。
直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。
口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状

吸入

情報なし

皮膚

情報なし

眼

情報なし

経口摂取

情報なし

最も重要な兆候及び症状

情報なし

応急措置をする者の保護に
必要な注意事項

情報なし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末、炭酸ガス、泡

使ってはならない消火剤

該当なし

火災時の特有の危険有害性

火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)を放出する可能性がある。

特有の消火方法

火元の燃焼源を絶ち、水や粉末、炭酸ガス等の消火剤を用いる。燃焼時に発生する。ガスや煙等を吸引しないように、消火作業は風上から呼吸保護具を着用して行う。

消火活動を行う者の特別な
保護具及び予防措置

ヘルメット、保護めがね、防塵・防毒マスクを着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急措置

作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川等に直接流してはいけない。大量の水で希釈する場合には、排水が適切に処理されずに環境へ流出することがないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものはできるだけ拭き取って回収し、その後多量の水を用いて洗い流す。危険でなければ漏れを止める。

二次災害防止策

データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策
安全取扱い注意事項

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。

保管 接触回避
衛生対策
安全な保管条件
安全な容器包装材料

吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
取扱い後はよく手を洗うこと。
密栓を行い、直射日光を避けて15℃以下に保管する。
ポリエチレン、ガラス

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 等

管理濃度

未設定

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

防塵マスク、空気呼吸器

手の保護具

保護手袋

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、側板付き保護眼

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護長靴

特別な注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

フォーゲル・ジョンソン寒天培地 ‘栄研’
物理状態

(1) フォーゲル・ジョンソン寒天基礎培地

物理状態	粉末
色	淡黄色～淡桃色
臭い	特異なおいはあるが腐敗臭はない。
pH	6.3±（調製後）
物理状態	(2) 2w/√% 亜テルル酸カリウム水溶液
物理状態	液体
色	無色透明
臭い	臭いはない
pH	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	混合物としてデータなし
化学的安定性	<亜テルル酸カリウムの安定性及び反応性として>
危険有害反応可能性	安定
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	日光、熱
危険有害な分解生成物	テルル酸化物
その他	データなし
	特になし

11. 有害性情報

急性毒性 経口	混合物としてデータなし
皮膚腐食性/刺激性	<亜テルル酸カリウムの有害性情報として>
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
その他	データなし
	特になし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	特になし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物

焼却法、隔離法

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

情報なし

国内規制 海上規制情報

該当しない

航空規制情報

UN3288 容器等級Ⅲ 毒物類・毒物

陸上規制情報

該当しない

応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

【テルル及びその化合物】

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2、別表第9)No.376

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働基準法

該当しない

化審法

該当しない

航空法

毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)

船舶安全法

該当しない

消防法

該当しない

大気汚染防止法

該当しない

水質汚濁防止法

該当しない

土壌汚染対策法

該当しない

下水道法

該当しない

海洋汚染防止法

該当しない

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

特になし

16. その他の情報

引用文献

各データ毎に記載

その他

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。